



[トップページ](#)

[大使館案内](#)

[二国間関係](#)

[領事情報](#)

[政治経済情報](#)

[開発協力](#)

[広報文化](#)

[重要外交課題](#)

[在サンタクルス領事事務所案内](#)

[リンク一覧](#)

[トップページ](#) > 2021年7月 ボリビア経済情勢

2021年7月 ボリビア経済情勢

2021/8/9

1 マクロ経済

(1) 直接外国投資

ボリビア中央銀行（BCB）によれば、2021年第一四半期の直接外国投資額は、2020年12月のマイナス9700万米ドルから、1億3000万米ドルへ回復した。

(2) 海外送金

BCBは、2021年5月時点での海外送金額が5億7100万米ドルに達したと発表した。総額の35.4%をスペイン、20.5%をチリ、20.2%を米国からの送金が占めている。

(3) 公共投資の執行率

今年度予算で策定された公共投資額（40億1100万米ドル）のうち、第一四半期までの執行率は約25%（9億9900万米ドル）に達した。

2 大規模プロジェクトなど

(1) 原子力技術開発研究センター（CIDTN）

7月時点で、CIDTNの施工及び技術移転を担うロスアトム社（Rosatom）は、同研究センターの第一リアクター建設を開始しており、2024年からの稼働を見込んでいる。同社は、2021年12月までに、CIDTNの一部である核医学研究施設の引き渡しを実現する予定。

(2) イチローマモレ水運の利用開始

12日、サンタクルス県イチロ（Ichilo）とベニ県マモレ（Mamore）を結ぶ水運の改修工事が完了し、アルセ大統領立ち合いの下、同水運の稼働が開始した。水運を利用するコチャバンバ県の企業家は「これにより、大西洋への輸出コスト削減につながる」旨述べた。

3 その他

(1) 国際調査の実施

21日、アルセ大統領は、国勢調査（CENSO）の日程を2022年9月16日に定めた旨発表した。実施に際しては、約8億3900万米ドルを、国庫金及び世界銀行から調達し、公式集計の結果は約一年後に公開する見込み。

(2) 高価値資産税（IGF）

ボリビア税関局によれば、2021年5月までの高価値資産税（IGF）からの税収は、約3400万米ドルであった。当初見込んでいた税収額の1400万米ドルを大きく上回り、回収率は140%に達した。

(3) 電気自動車

8日、政府は、電気自動車製造のための融資、免税、部品調達等にかかる最高政令第4539号を公布した。右最高政令により、国外輸出へ向けた、クオインタム社（コチャバンバ）などによる電気自動車製造にインセンティブを与える見込み。

(4) ドバイ万博への参加

16日、ボリビア外務省は、同国の2021年ドバイ万博参加を表明した。開催期間は、2021年10月1日から2022年3月31日までで、ボリビアは、無償にてボリビア・パビリオンを設ける。右パビリオンは二階建てであり、産業ビジネス、文化、技術をテーマに展示が実施される。

[◀ 一覧へ戻る](#)

[▶ このページのトップへ戻る](#)

[法的事項](#) / [アクセシビリティについて](#) / [プライバシーポリシー](#) / [このサイトについて](#)

Copyright(C):2014 在ボリビア日本国大使館